

優秀賞

○設計者

山梨知彦

- 東京建築士会
- (株)日建設計



- 共同設計者:
中本太郎
鈴木隆
矢野雅規



(左より中本・鈴木・矢野)

○美術館

ホキ美術館

- 千葉県千葉市緑区あすみが丘東

▶▶▶ 選評

アールデコ建築である。オーナーであり、内に納められている絵画群のコレクターでもある保木将夫氏のそれは要望でもあり、設計者は建築の平面計画においてそれに応えた。

その方面のコレクターでもあるらしい保木氏は所蔵のワインを飲みながら、これも私蔵であるリアリズム絵画を眺める、そして多くの人々にもそうしてもらいたいと望んだと聞く。

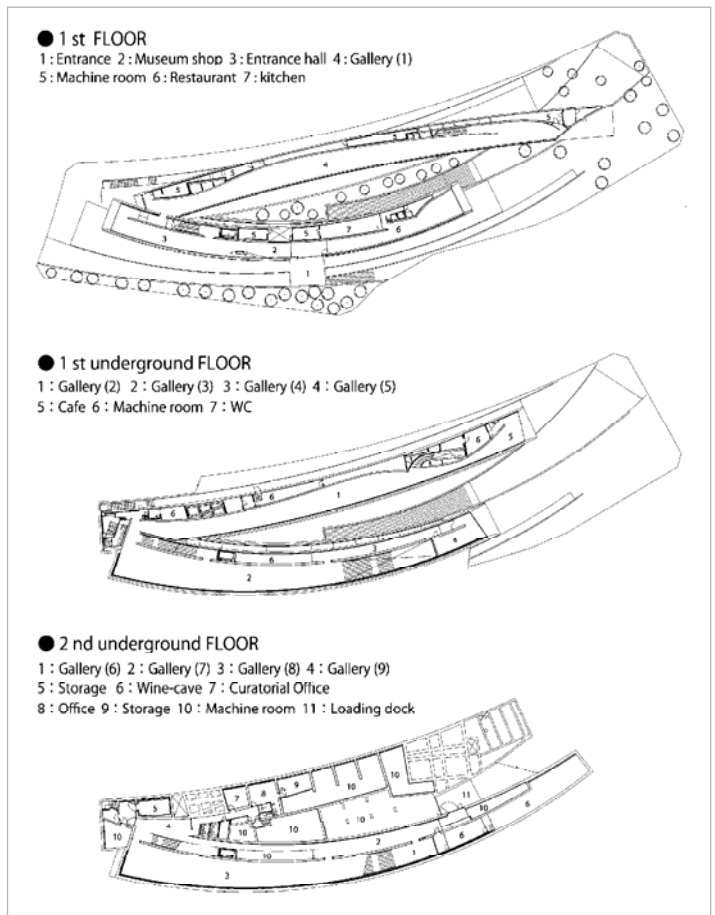
平面計画は、すべて私性に富んだ曲線の連続によって構成されている。気分としてはワインを片手にブラリブラリと散歩する流動性が求められている。

しかし、新興住宅地の日常生活圏に接して計画されている点に、この建築の可能性はより大きくあったのではないか。公設の、つまり税金で建設される公共施設としての美術館群の大半が民衆の生活とは無縁の教条的近代建築の骨組みを所有しているのからは、ロケーションも与件も自由であったはずだ。無くても良かった技術のこれまた遊戯にしか過ぎぬ長くうねったキャンティレバー部に住宅風のワイン倉庫なりレストランなり、ギャラリーショップなりが併置されていたなら、オーナーの意思も貫徹でき、かつ美術館としても画期的なものになったのではなからうか。余りにも惜しい。

(石山修武)



A



平面図



B



C



D



E



F

- 構造・階数：鉄骨造+一部鉄筋コンクリート造、地上1階建て、地下2階
- 敷地面積：3,862.72㎡
- 建築面積：1,602.39㎡
- 延床面積：3,722.39㎡
- 竣工：平成22年10月31日

写真撮影：A・C・E・F 藤井浩司/ナカサンドパートナーズ／B 野田東徳/雁光舎／D 金子俊男、提供：S.L.D.A(サワダライティングデザイン&アナリシス)

A：スチールの一体構造により、地上から浮遊したギャラリー。敷地が許す限り引き伸ばされた個々のギャラリーはそれぞれ80mほどの長さで、緩やかにカーブした形状となった

B：積層する鉄筋コンクリート造のギャラリーと弧状鋼板構造のギャラリー

C：庭からレストランとギャラリー5を見る

D：ギャラリー1。クロスや床材の継ぎ目、ピクチャーハンガー、吊り下げ照明といった雑物を空間から徹底的に排除した

E：シームレスなギャラリーには写実絵画と鑑賞者のみが存在する

F：外界から切り離されたギャラリー空間。天井に埋め込まれたLEDライティングシステムは作品ごとのデリケートな個別チューニングへの要請に応えている